

令和3年4月22日

## 記者懇談会 第八管区海上保安本部長冒頭挨拶

皆さんこんにちは。

本日は、ご多忙中にもかかわらず、お集まりいただき、ありがとうございます。

さて、当庁では例年4月の人事異動により約1/3が入れ替わり、新たな体制でスタートします。

本日の記者懇談会は、令和3年度の第1回目であり、私も含めて、担当者の半分が入れ替わっており、不手際のあることをお許しいただければ幸いです。

また、この後、今回の異動で新たに加わった部長以上のメンバの自己紹介を行います。何かと付き合いがあるかと思しますので、よろしくお願いします。

これまでは、4月1日付の1回のみでしたが、現在では、引っ越しの繁忙時期に配慮して、3月15日付、4月1日付、4月15日付の3回に分けて異動がなされています。

これにより、以前のような引っ越し業者を手配できないとか、費用が高額となり手当をオーバーしたといったことも見かけなくなりました。

さらに、コロナ禍での引っ越しということもあり、前任地、新任地に向けての移動中であっても感染防止対策を徹底し、また、まん延防止措置に指定された地域など感染リスクの高い地域からの移動にあっては、念のため、事前に PCR 検査で陰性を確認してから移動することで、感染拡大防止の徹底を図っています。

このように、例年とは違った引っ越しですが、現場第一線にある船艇にあっては、一刻も早く人事異動後の新体制での船艇運航能力や業務遂行能力を確立すべく、日夜訓練を行うのが、恒例となっています。

さらに、先の 3 月末に海上保安学校を卒業した新人も加わり、訓練では先輩職員の熱も入ります。

訓練などの様子は部内報告として、日々本部に届けられており、一つの訓練風景を見るたびに、とても頼もしく思い、また、自分自身が初めて現場に赴任した時のことが昨日のように思い出されます。

本日の本部からの発表事項は、「GW 中のマリンレジャーを安全に」と題して「GW 期間における海の安全推進活動について」の紹介です。

まもなくゴールデンウィークを迎えます。例年、ゴールデンウィークには、マリンレジャー活動が活発となり、これに伴い事故が増加する傾向にあります。

また、昨年から続くコロナ禍の影響もあり、3密を回避しやすいのではないかとの理由から、屋外レジャー活動のひとつとしてマリンレジャーが活発化し、事故の増加も懸念されます。

これは、日頃から海の危険性を感じることなく生活している多くの方が、海の危険性を十分に理解し、対処する力を身に付けるまえに、海に出てしまい、事故にあうのではないかと思われます。

海でのレジャーは、気象や海象に大きく左右され、天候の変化などへの対応、ボートなどの機械の取り扱いの不慣れ、あるいは知らないなど、これらが原因となって事故に遭遇しないよう、GW 期間中には、海上保安官などが現場に赴き、海でのレジャーを安全に楽しんでもらうためのコツというか注意事項を周知し、事故を 1 件でも減らそうという取り組みを強化します。

古くは、平成 2 年 4 月の GW 直前に、千葉県で 11 名乗ったボートが転覆し、7 名死亡行方不明、1 名負傷、3 名救助という痛ましい事故がありました。

当日は、沖合の波が高かったことから、波のない港内で操船する予定で出港し、そのまま、沖合にでてしまい、やはり波が高いということで戻ろうと船を反転させたときに、横波を受けて転覆したものです。

死亡行方不明となった 7 名は、助かった方の子供を含むご家族であり、また、私自身、その後の小型ボートの安全対策の策定に携わったことから、強く私の心に刻まれた事故でした。

事故を防ぐには、海をよく知ることが大事であります。

そのため、海上保安庁としては、よく知る手助けとして、啓発活動を集中的に実施しており、本日はこの取り組みを紹介するものです。よろしく願いいたします。

私からは以上となります。